

第2回 千早赤阪村まち・ひと・しごと創生有識者会議

日時	平成27年10月29日(木) 午後2時～午後3時30分
場所	保健センター 3階 集団指導室
出席者	吉田(裕)委員長、井関委員、堀切委員、山本委員、西岡委員、和泉委員、岡橋委員、 吉田(美)委員、参田委員
事務局	まちづくり課：高橋理事、安井課長代理、中島主事 健康福祉課：西口参事 教育課：上田係長
傍聴者	1名
会議概要	1. 開会 2. 委員紹介 3. 議事 (1) アンケート調査結果(概要)について (2) 千早赤阪村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン素案(案)について (3) 千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)について (4) 本村の活性化に向けた施策の検討について (5) その他 4. 閉会

【意見概要】

議事(1)：アンケート調査結果(概要)について

○委員

・他市でも有識者の任命を頂いており、アンケートなども見ているが、千早赤阪村では村民が愛着を持たれているといった印象を強く受けた。他市ではこんなにも愛着を持っているという結果がでていなかった。千早赤阪村に住むと満足感を得られる場所であると思う。

議事(2)：千早赤阪村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン素案(案)について

○委員

・雇用に関して記載がみられないのですが、これは村の現状から鑑みて、選択と集中をした上での判断でしょうか。

○事務局

・雇用に関しましては、総合戦略の中でお示しさせていただいており、事業として考えております。

○委員

・若い世代の流入を目指すと記載あるが、どういったことに力を注ぎたいのでしょうか。

○事務局

・高齢化率の改善も考えたうえで、子育て世代の流入を目指したいと考えています。子育て世代は特に教育環境にシビアですので、そういった面におきまして強化を図ってまいりたく考えています。

○委員

・小吹台に若い世代が入られたと聞いたが、なぜ村に来たのでしょうか？

○事務局

・1組はもともと村出身の方であり、村の事も良く知っているので村で子育てをしたいとのこと。もう1組はTVで放映された村の英語教育の情報を得て、こういったところで子育てをしたいと思い、来られたとのこと。

○委員

・村の教育環境については、少人数であるからこそその良い面悪い面がある。

メリットとしては特にいじめに関しては早い段階から芽を摘むことができるなど、一人ひとりに目が届きます。反対にデメリットとして、集団的な対応に弱いところがある。そういったところは創意工夫し、対応を行っています。

また、英語環境については、村の留学制度や英検の補助があり、また幼稚園から英語教育があり、他市町よりも手厚く感じる。

○委員

・TVで放映していたのだが、ある離島で人口が急激に増加している。そこではHPやパンフレットの充実、都会への情報発信をしており、そういったところも参考にできると思う。

議事（3）：千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)について

（4）：本村の活性化に向けた施策の検討について

○委員

・村は森林の資源が豊富ですので、林業が活性化するような事業はぜひとも取り組んでいただき、産業の拠点としていただきたい。また、地方に行くと、道の駅を観光の資源としているところもあるが、そういった取り組みはどう考えているのか。

○事務局

・林業に関しましては、知識が乏しいため、間伐材や防災の面からもぜひともご協力をお願いしたいと考えています。また、道の駅に関しましては、現在、役場新庁舎の建設の候補地が道の駅周辺となっており、新庁舎の動きを見ながらと考えています。周辺自治体の道の駅は農協とタイアップして運営等されており、本村についても、道の駅や直売所を一体的に考え、また農協と連携を図りながら、あり方を検討していきたいと考えています。

○委員

・道の駅に関しては、大学と一緒に道駅を活性化させる補助金が国から出ていたと思う。そういったものも活用しないといけない。また、兵庫県養父市では古民家を観光的に活用しているところもある。空き家を住宅としてだけでなく、観光資源としても良いだろう。

○委員

・事業がたくさん掲載されているが、事務局が考える優先的に実施したい事業はなんのでしょうか。

○事務局

・移住したくても移住場所がないという受け入れ体制が整っていませんので、空き家に関する事業や、子育て世帯の確保を目指したいので、子育て支援に関する事業について優先的に行えればと考えています。

○委員

・人口ビジョンの期間は2040年までであり、総合戦略の期間は5年間であるので、そういったところを鑑

みるとしっかり優先順位を決めて取り組まなければならないと思います。

○委員

・やはり教育には費用が多くかかるので、子育て世帯への支援というものは目玉事業になると思う。また、村出身の者が村に戻りたくても戻る場所がないとよく聞くので、若い世代が住みやすい集合住宅のようなものが開発されればとも思います。

○委員

・子育て世代としては、教育費用を支援していただけることはすごく助かります。また、防犯面についても防犯カメラの設置事業として掲載されておりありがたい。

○委員

・先日ハロウィンイベントを地区で行ったが、他地区の子ども達も参加し盛り上がった。こういったイベント的なものに対しても、住民が率先して実施できる環境を作っていただきたい。

○委員

・村の給食はとてもおいしく、評判が良い。ただ、府下でも給食費が高いイメージがあるので、そういった費用に対しても支援していただきたい。

○委員

・コンビニの誘致はどうか。

○事務局

・村としてもぜひ誘致したいのだが、なかなか来ていただけない。

○委員

・最低売り上げの補助などを行えば、誘致しやすいのではないのでしょうか。道の駅との併用も良いのでは。

○委員

・企業誘致については、掲載している事業で良いと思うが、他市町村に先んじて実施しなければ意味がないと思う。

○委員

・空き家については、住んではいないけれど、週1回帰ってこられる方も多くいる。いずれは戻る予定の方も多い。

○委員

・最近、空き家を手放したくない所有者向けの空き家管理の仕事が増えてきている。そういったものも雇用が生まれ、環境づくりにもなると思う。